

名家
畫譜
冊中
名集

夏之部

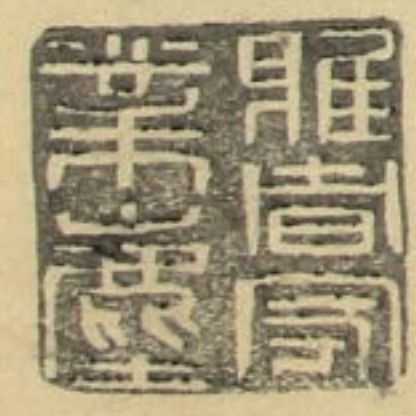


土 宍 庵 の ち
撰 有 也 ち ち ち ち ち ち
及 而 果 乃 多 日 た ち ち
ら ぬ 也 ち ち ち ち ち ち
松 心 集 卷 之 三 俳 諧 の

古れ也 世をりし 志を 守り
あはれとの 先ん 草子と
櫻 昔の心 力 契 たる
等 采人の 氣 氣 心 志 事 所
又 心 心 け 乃 筑 法 花 花 花
古 子 志 志 心 の あ 心 志 清
心 人

のこら 心 草の 神
月 心 心 又
心 心 心 心 心
心 心 心 心 心
心 心 心 心 心
心 心 心 心 心

遊め 己 道



蜀小路殿乃お保世牧寄
 登みまの存里一
 月高—牡丹乃
 花北下越ハ大勢



桃隣新宅
 寒々好家牡丹の花の家
 芭蕉

華乃松とよひ子
 芝や白牡丹 紫欄
 切くくく 花冷まきき
 牡丹うちま 五道
 赤きハの園らーさや
 何そまう
 白ほくす 花山
 白保まむ 大道
 牡丹こく小やめや 有車
 ワ記くー車アの風
 如山
 紫の成と好まのよ笑
 雀子めくや
 牡丹が 序有
 牡丹のむ乃彩
 越雀
 紫平とのまうくまのふむが
 女年 雀宿
 一端の牡丹の終ちまふらゆ
 花を道雨
 ちやる假のり 可然
 又くくあく牡丹乃
 ゆくく終く牡丹の
 紫のくるれ紫
 司書

いちちや
 紫乃
 ぬけり
 けく
 花山
 子石根の
 一八ささめ
 花川
 ちち川のむの中り水ゆし
 二頃
 青尾お余の善信の絶屑 牧子



紫羅蘭
 青尾
 花一八

花葉や芍薬咲てふささし 且彦

芍薬や
花宰相の
印位 楚山

芍薬

月や

如月の
影る者
家カヒ士乾

芍薬を
切らぬと
芍薬の香は
揮るゝ如残る家
志石

切らぬと
芍薬の香は
揮るゝ如残る家
志石



ニヤクヤク
芍薬
花宰相
正ヒスクサ
正ヒスクスリ

あふささく花吹あめ久し藤白う 和潮
ほあふささく古代の伊達也花菖蒲 扇甫
桶挽り河汲也花宰相久 五土田
宵の月花菖蒲也あめめの花のうめ 楚山



ハナアヤメ
花菖蒲
白アヤメ

有明のあまきハネ 徐英

むしめくおやとの河の 蕙子花 楚山

むしめくおやとの河の 蕙子花 楚山

蕙子花 楚山

和潮

蕙子花

一もいふ

蕙子花

蕙子花

蕙子花

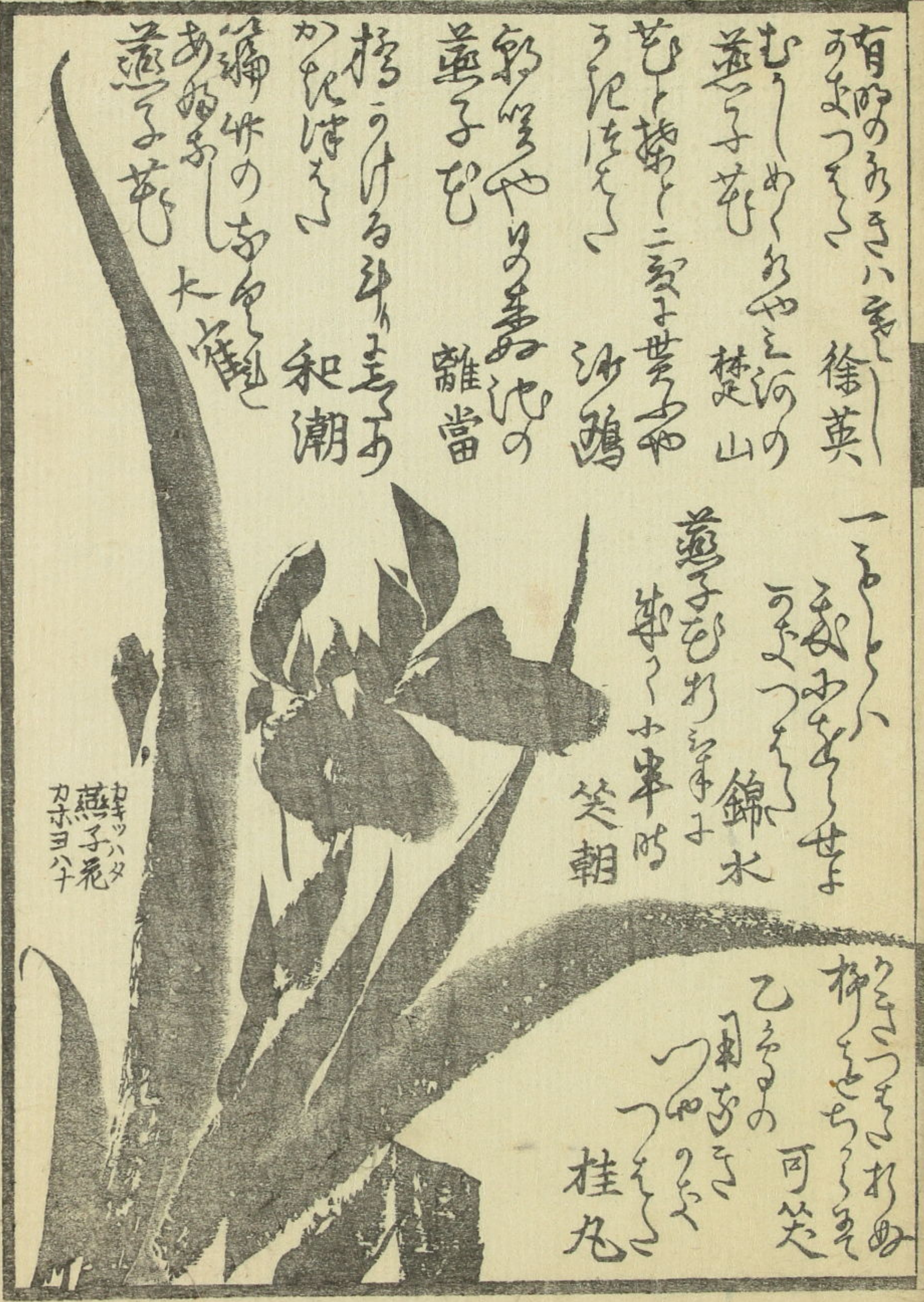
蕙子花

蕙子花

柳のつるさかめ

乙子の

桂丸



蕙子花
カキヨハ
カキヨハ

雨雲もろくくげのち生雲里 其朝



子ハ名子たうハね 花光

もこのやア人草

夕風もむつり 楚山

美人草
麗春花

興子
白ケ注

如山の紫花狗子の子たぬき山の角
 一ツ葉をこらぬき山のうひらきこま
 ひろき山一ツ葉山の東の根みくら
 東岳
 二竹
 林北山
 加山
 帰雄



昔の意はゆめありつゆなうは
 方丈のゆめありつゆなうは
 福原のゆめありつゆなうは
 日のもろれ日ころろろろろろろ
 昔の意はゆめありつゆなうは
 あげのそろろろろろろろろろろろ
 清の意はゆめありつゆなうは
 宮の意はゆめありつゆなうは
 暮の意はゆめありつゆなうは
 朝の意はゆめありつゆなうは
 石の意はゆめありつゆなうは

緑車
 秋南
 芝石
 松鳥
 九松
 月松
 施松
 梅香
 東岳
 楚山
 李仙

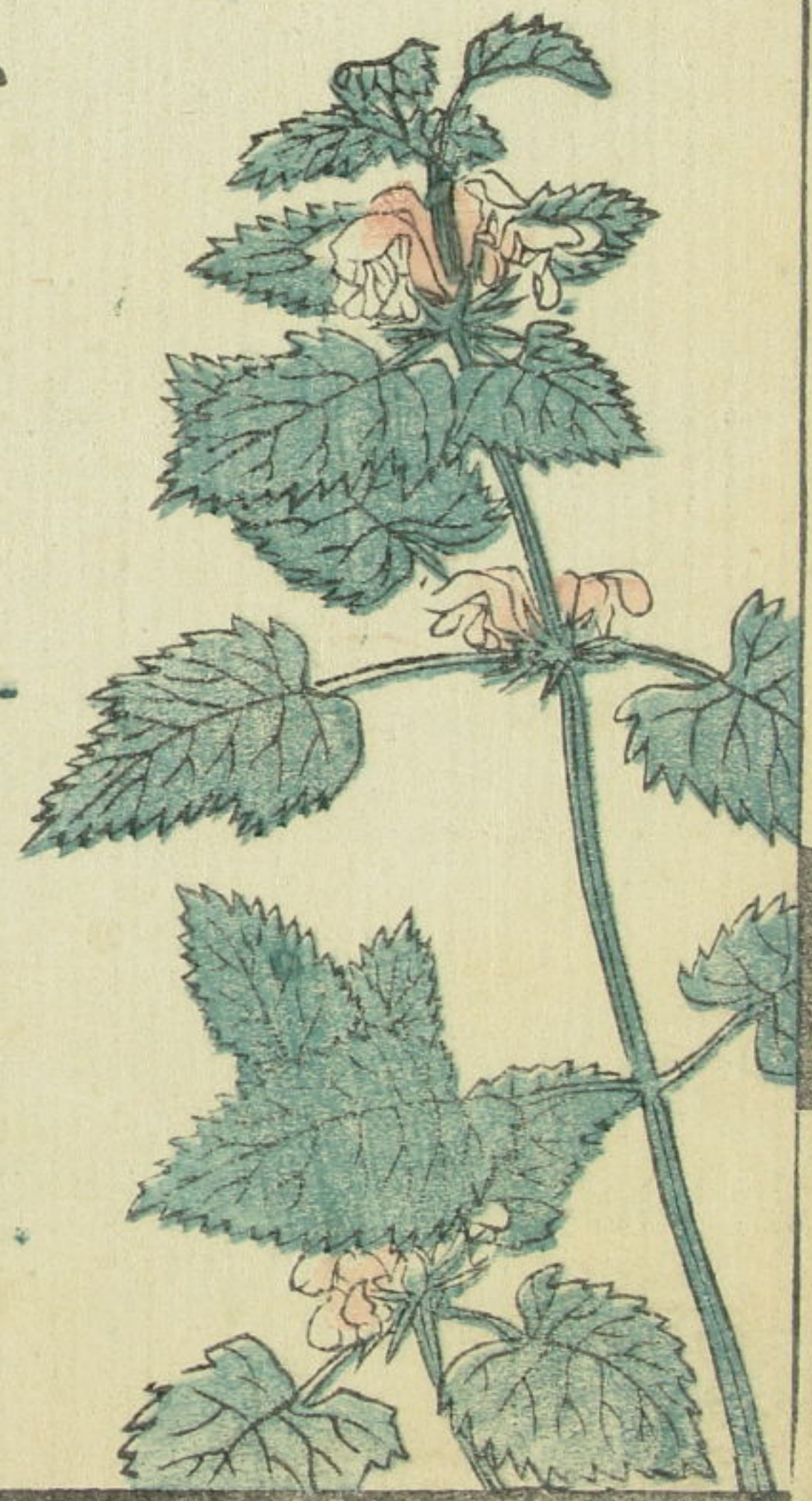
故
 士
 解

山何や何もあらねり昔は系故

少女



道子や眞子抱子り踊り花
和ふ〜もか〜も踊り花 玉水
尺〜あ〜欠の死〜踊り花 扇南
唐沢の月よ老〜も〜も 千五



著我の藤の跡

理磧

切如〜も〜も
切如〜も〜も
素徹
著我の
神酒の
神の
琴左



著我の花白し〜も〜も
和ふ〜もか〜も踊り花
尺〜あ〜欠の死〜踊り花
唐沢の月よ老〜も〜も
鳴戸
桔梗
楚山
草角
東雲
春池

著我の
蝴蝶草

竹をさしこしとハ玉ちく芭蕉の節 楚山

このところのゆきを 片有

常夏の媚も玉ちく
えせ成る南 昆明

玉巻をさし

等

も

光る

雨耕

玉巻をさし

吐竜

玉巻芭蕉
ハセラノ八十



葛蒲 セウフ川
セウフ湯 セウフ酒
セウフウリ 長キ根
斬アヤノ フキヨネ

首白蒲をさし
けつるや八衛の
けつるころめ

大巢

巻あけ
おのの葉をさし
如竜

子泣抱く足てある
のころ何かえり キ上

谷あいのそら
田はれ葛蒲をさし 唐古

のひるりし知る
五尺のあやめ草 東宇



蓬 ヨキフク
葉 伊吹モヤ
モヤ取

帆柱さしけつる
よのころのちり
花央 楚山

石菖蒲の汁は、
 葉に似たる菖蒲の花、
 後見つるや、
 可し隅より菖蒲肥ぬ留備
 庭雅

蒲の種子
 楚山

蒲の穂乃
 一葉
 さし
 こらの月
 イセ
 東籬

蒲穂 菖蒲水燭

石菖

紫菖蒲
 又至
 芝鶴

風の香

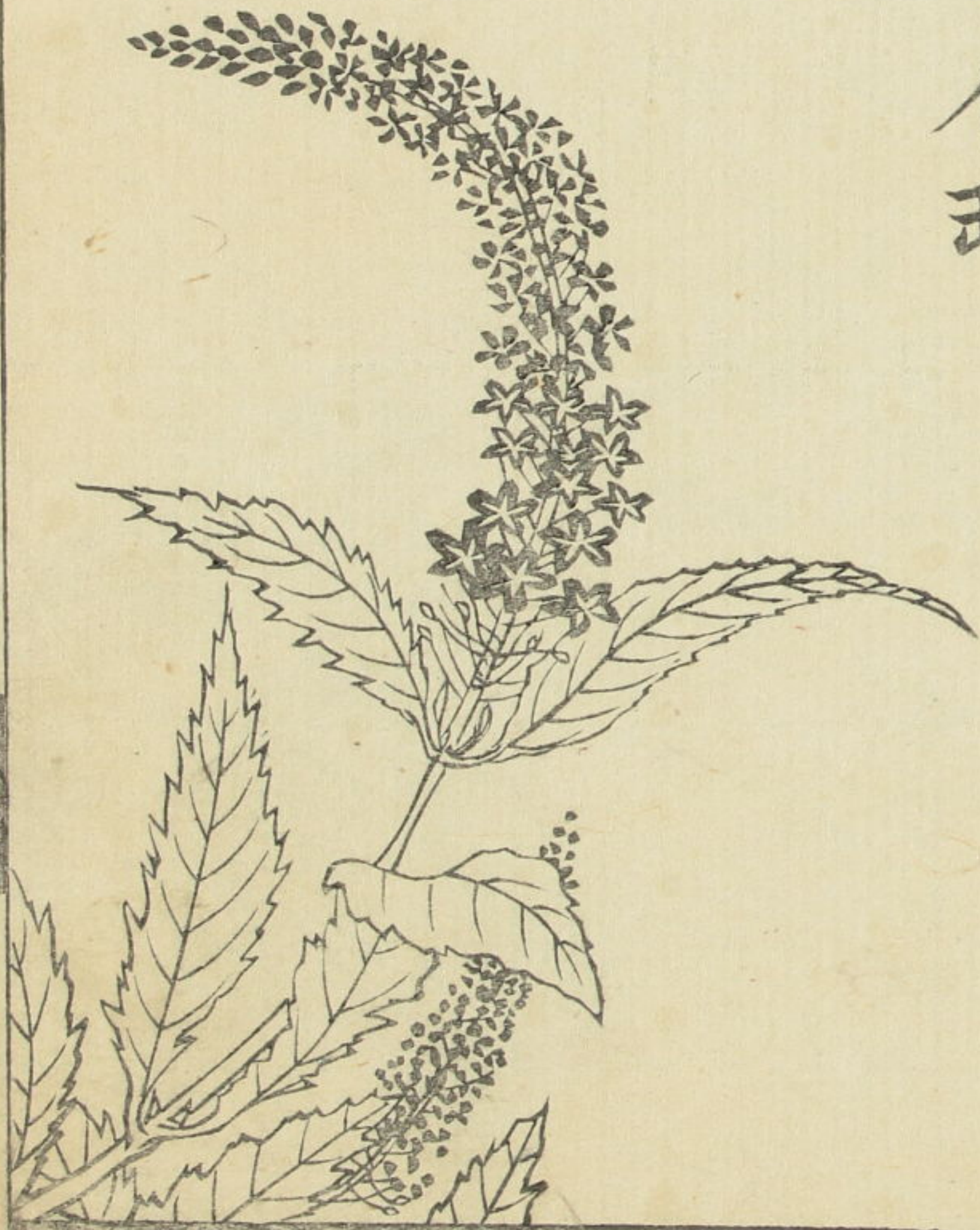
石菖蒲

楚山



紫菖
 白及
 花ノ白
 白及ト云

チカトウキチ
 珍珠菜
 キツツ
 鬼見尾
 ト
 虎尾草



とくの尾北
 花乃いふ
 和名山と

佳珉

虎の尾子馬張月北
 あらうらうら
 楚山

虎の尾子馬張月北
 申ああらうら
 扇浦

降こるせ

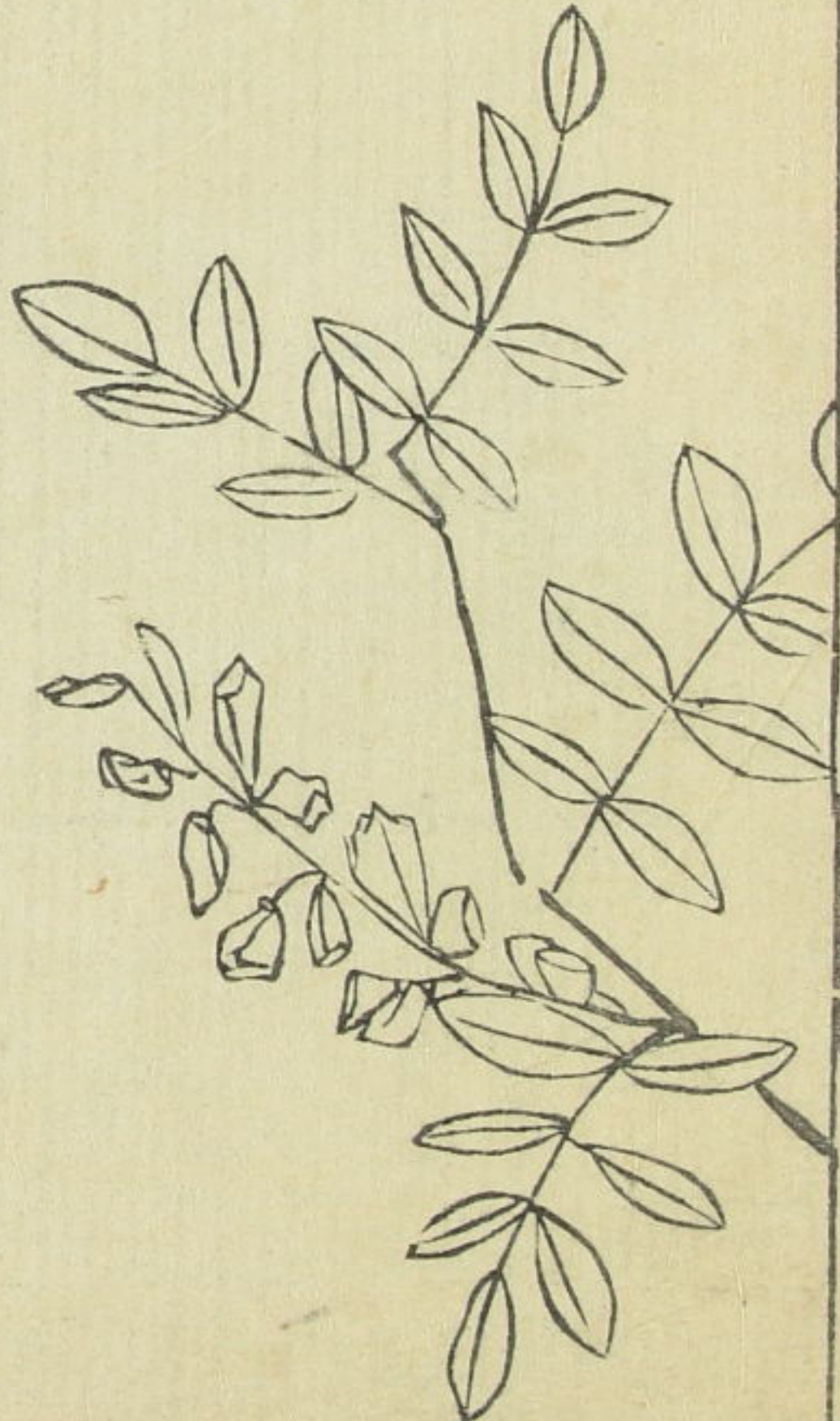
天南星花

花のふ
 宙悉



テ
 天南星
 萍鶴
 雪持
 舟シラミ

石藤
草



石藤
山石
庭

石藤
山石
庭
石藤
山石
庭
石藤
山石
庭
石藤
山石
庭

石藤
山石
庭
石藤
山石
庭
石藤
山石
庭
石藤
山石
庭



水
銭
立
花
莖
葉
カ
ラ
ア
フ
ヒ

風車をくく笑ふのなれ風車 櫻溪

風車
鐵仙蓮

一種也



世の中此花小
あゝ風車
五蘊
風車
雨のやむの
あゝ
あゝ安あり
うさるま 笑朝
理積
坂がハ出り乃ま
風車
あけのつぐ
さやこまこま
楚山
席有

石竹ハ瘦てそつよに花の競
石竹の咲やちつとく注り砂

楚山
利青

撫子やな母の種 守武

酔うる母む撫子
さげろ
芭蕉菴
抱青

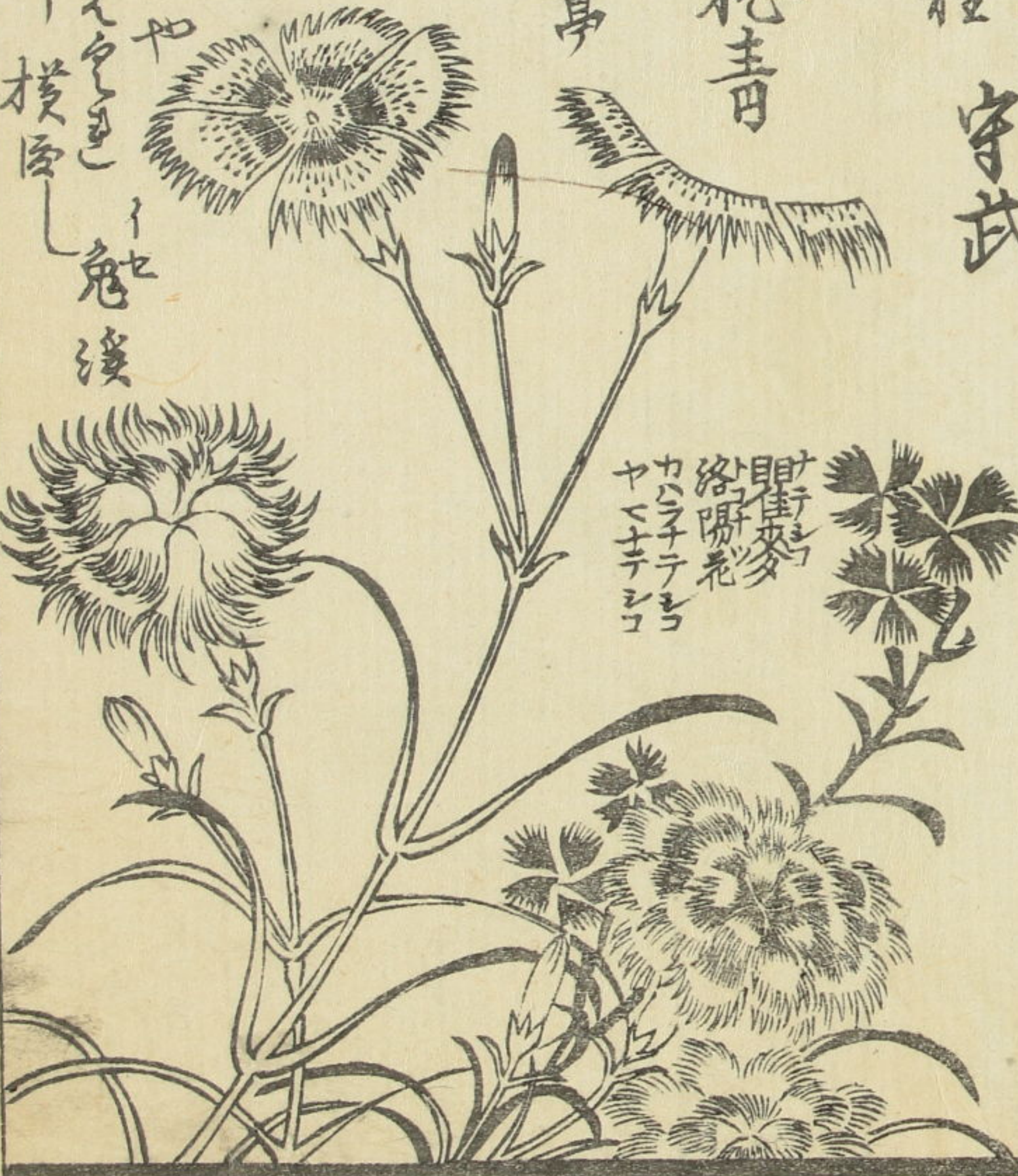
あてしこの花
誰り後抱 女 蘇亭

瞿麥の咲や
そふあのか
楚山

撫子や
こむ栲の粉
笑朝

あゝこれ
毛
都堂

連子や
横原
楚山



野
絡陽花
カハチテ
ヤメテ

織竹 ナアミコノ種

世に中々也志也イセ 雀叟

世に中々也志也イセ 雀叟
世に中々也志也イセ 雀叟

世に中々也志也イセ 雀叟
世に中々也志也イセ 雀叟

世に中々也志也イセ 雀叟
世に中々也志也イセ 雀叟

世に中々也志也イセ 雀叟
世に中々也志也イセ 雀叟



萱草
ワスレハ
無夏也

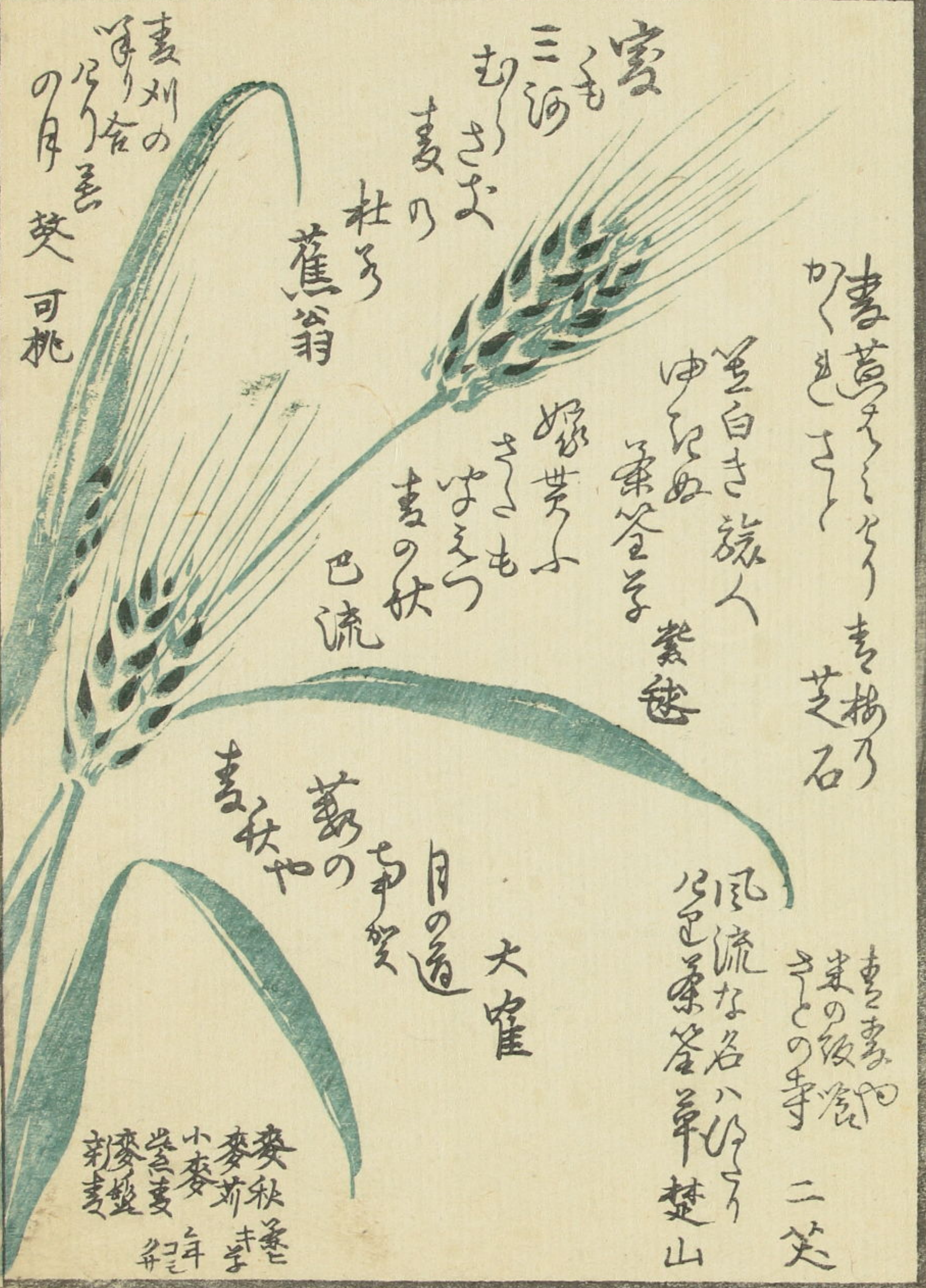
玉簪子也イセ 雀叟

玉簪子也イセ 雀叟



玉簪子也イセ 雀叟

玉簪子也イセ 雀叟



青葉のうらやま 青柳乃
かきとささ

白き旅人
ゆいぬ 紫巻

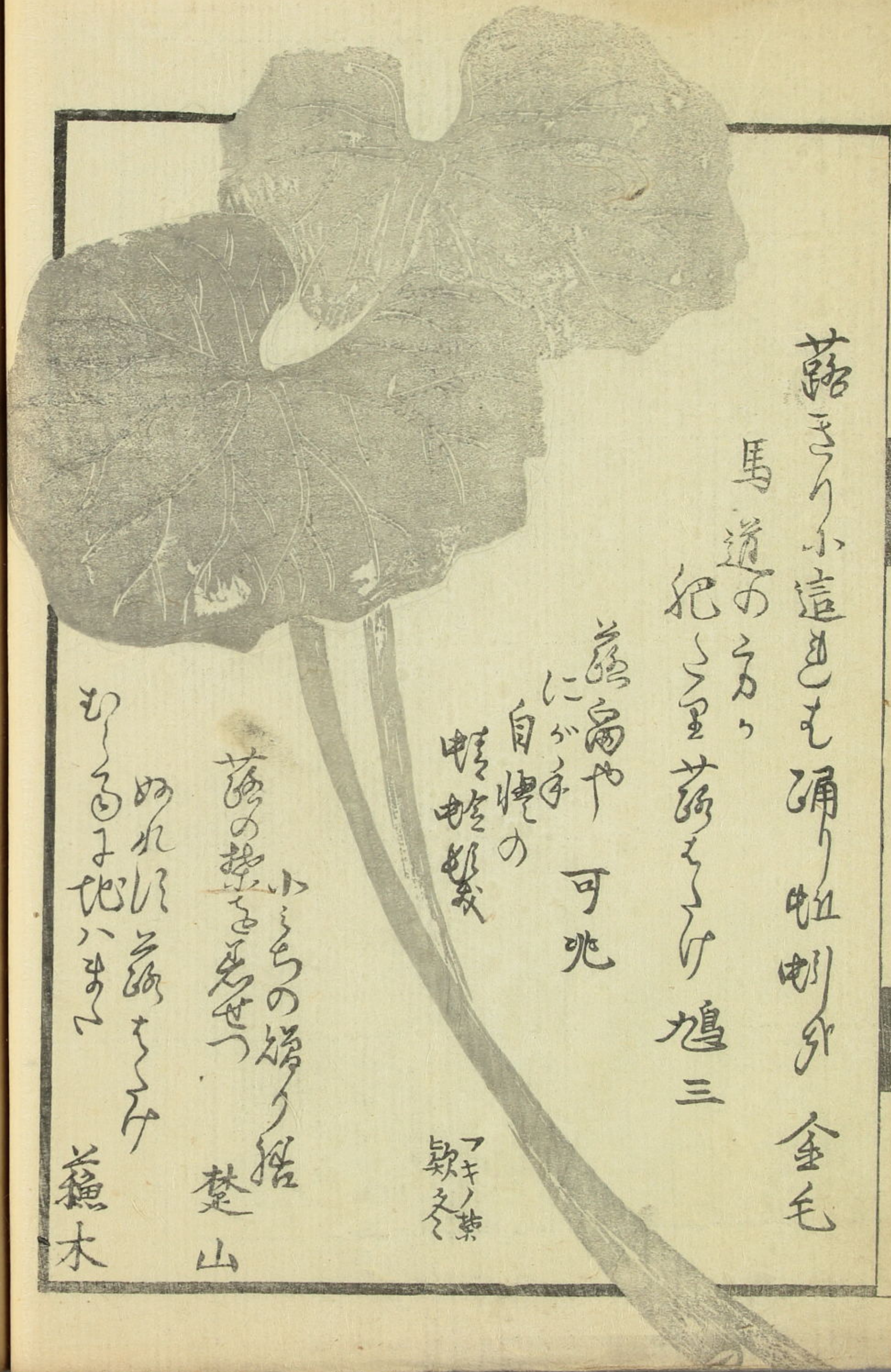
三河
むさふ
杜ろ
蕉翁
ささも
やえつ
秋の
巴流

麦刈の
の月 葵可桃

大雀
月の道
秋の

秋の
小麥
荻麥
新麥

風流な名ハゆり
二笑
楚山



落きり小遠色も踊り虫刺分 金毛
馬道の方り
紀し里落きりけ 鳩三

落高や 可兆
自惚の
蜻蛉髪

小まのゆり
落の葉を思せつ
楚山
あれは
おのこ地ハま

アキノ葉
歎

蘆木

鬼百合本燈加藤の所あり
流きなり
岸十

ゆきの花はさう
うきうき
ぬきぬき 井上

娘百合の
心はなれぬ
はなこの

女松花

風中か
そより

車百合
虎朗



百合のけし
人か山をさゆきの部
香雄

僅うまう
つゆのさき
申りのし
宙蚕
蒼帆

あちむも
谷川の音小
山百合動き
楚山
荏史

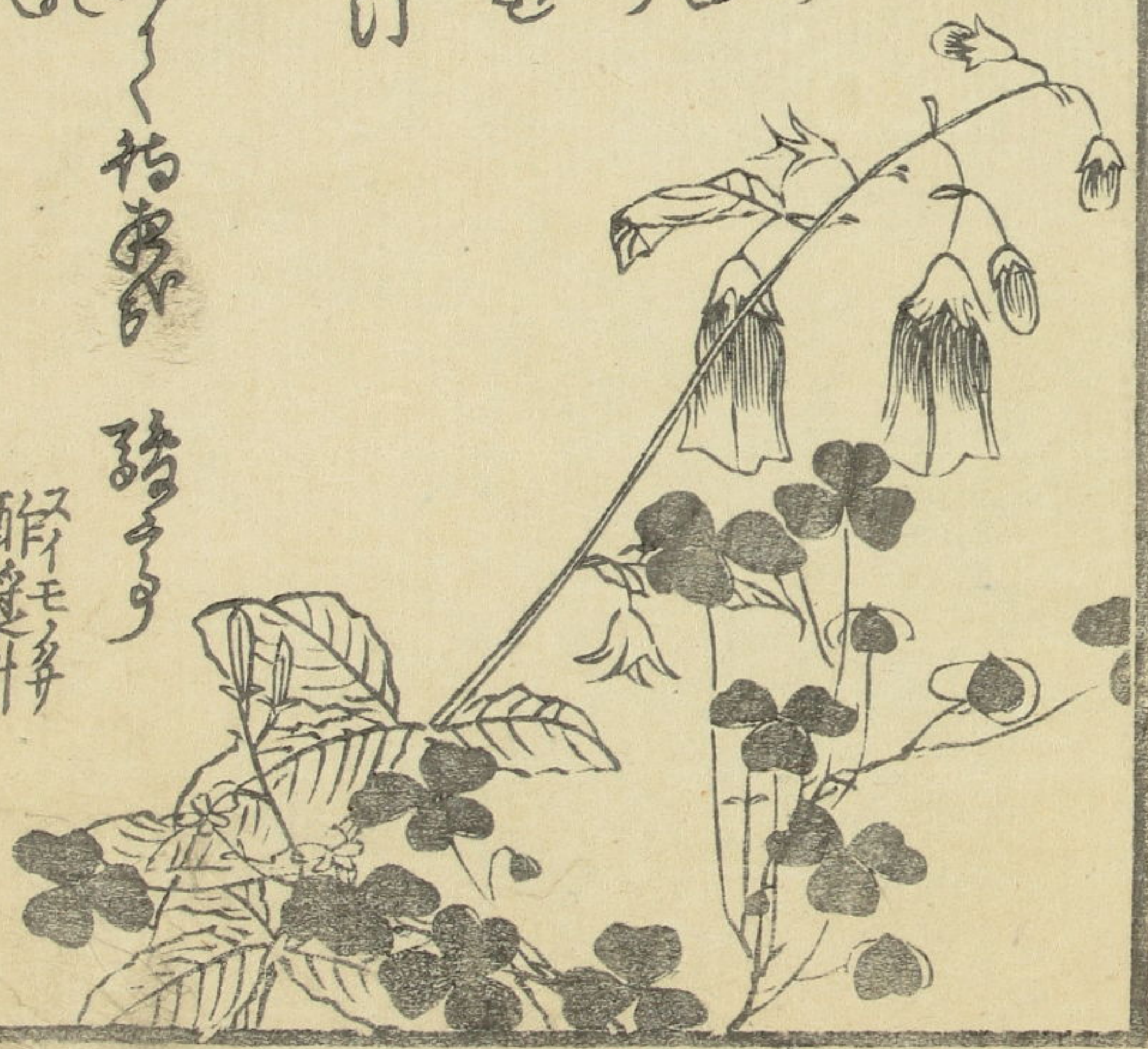
百合花車
サエリ山ユリ
鬼ユリ黒ユリ

約うのそ
好あなる
名あなる
故人
裁人

夕乞種和約種子の
一うこそ
楚山

音もなるさつり
申あくるま
日北あや約う種
草のセハツイセ
危汀

山
可くさみの
ゆきあき
新し
うきうき
きき
楚山



酔モ多
酉糖
カハミ
エイサ

風葉の香もあつ川よりねまればしる
 風葉の影もあつ川よりねまればしる
 風葉の月影もあつ川よりねまればしる
 風葉の涼もあつ川よりねまればしる
 風葉の影もあつ川よりねまればしる

風葉の
 花乃婆
 胡蝶
 士乾

今ハビウ
 岩もささ春丈
 松尾也
 朝もささるや
 いとくさ
 井山

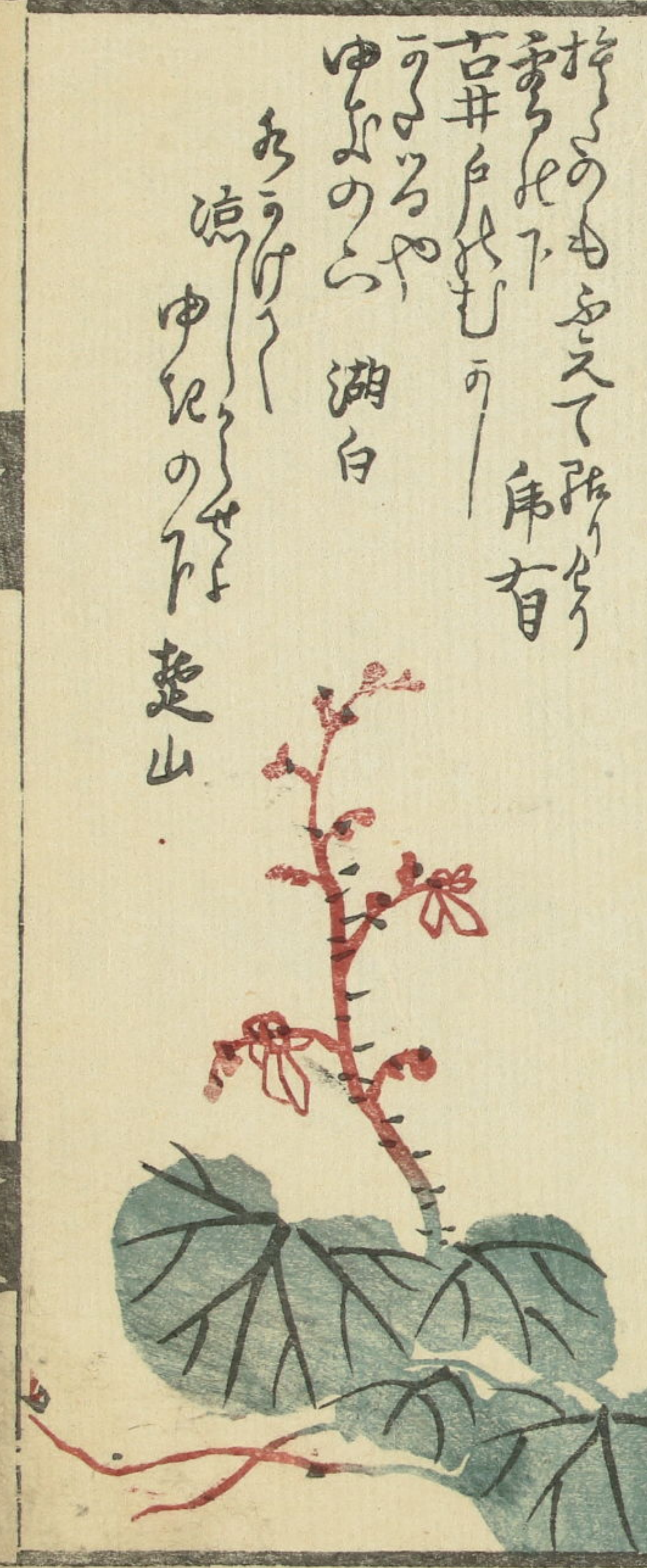


風蘭

消きいもあもいもあ
 根は折れぬまへもあ
 根は折れぬまへもあ

水乃涌本
 笑朝
 龍士

虎耳草
 花ノ白キマ
 花ノ白キマ



涼
 申比の下
 楚山

花くみ茄子柄のまき容る此留女体重

茄子花とまきと小花花

今ちるる
茄子 汲正

茄子の
留ても茄子ハ
小むさ記 唐古

茄子の
留てもささ記の記 笑朝

茄子の
留てもささ記の記 有車

茄子の
留てもささ記の記 庭雅



ナスノ花
初茄子
長十ニ
キナスヒ



二月輪草
コクハリ
コクハリ

かくち記花の日子や日輪草 女史 雪光

級
くさき
うゑて
まき
日輪草
素儼
玉阜
月朗
笑朝
狸川
扇南
三乐
楚山

驚き草や足らぬやうき水の沖 可なり

驚き草の

水明て

さうす

月 鳳臺

大沼や

驚き草ちさく

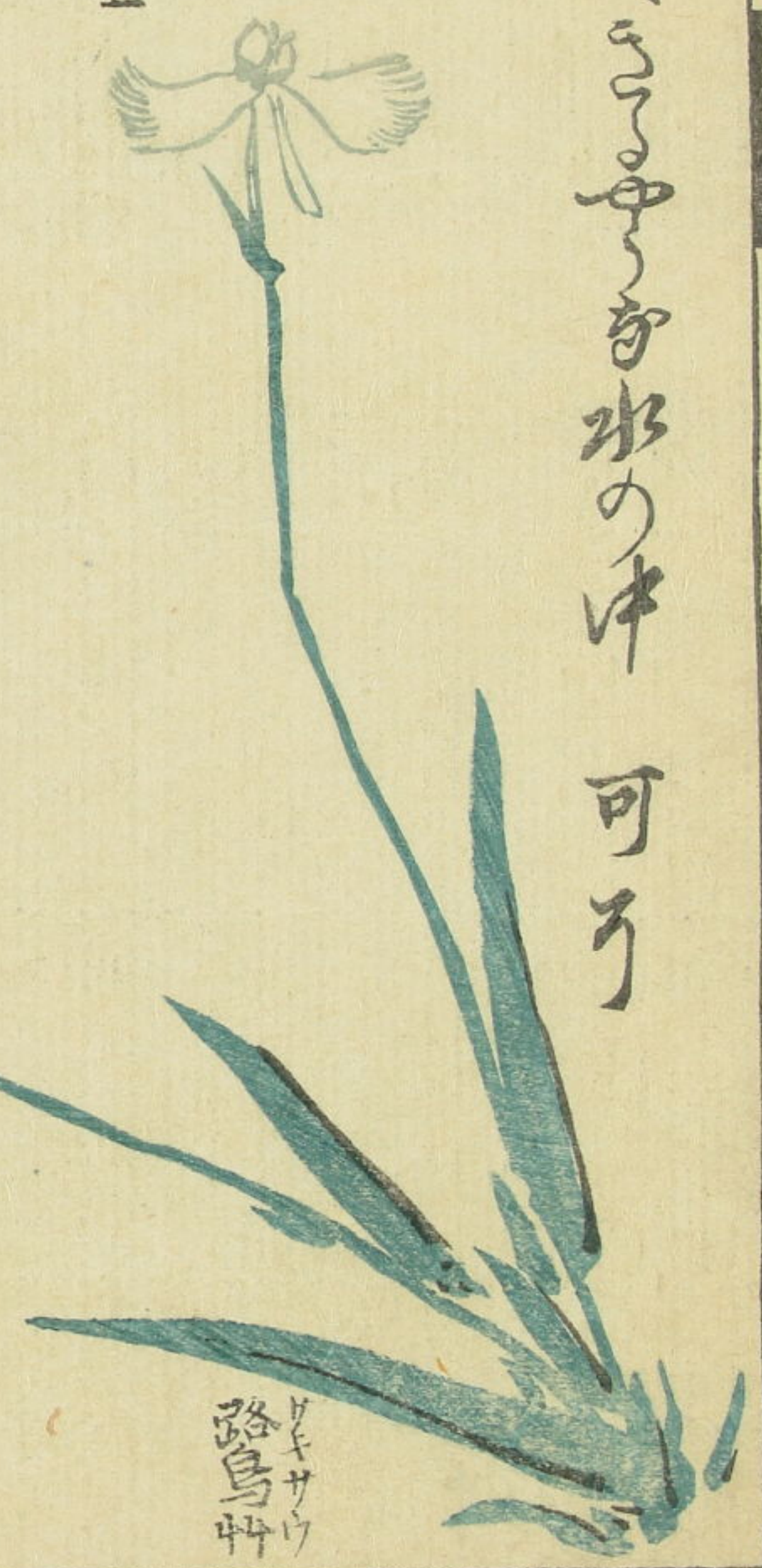
驚き白 露水

驚き草や好ふ

驚き草の

イセ 三雀

驚き草や足らぬやうき水の沖 可なり 楚山



路鳥軒

羊さしとて海さ 俊士

驚き草のむもを 楚山

佛えさるやうな 梅香

人たのみ 梅香

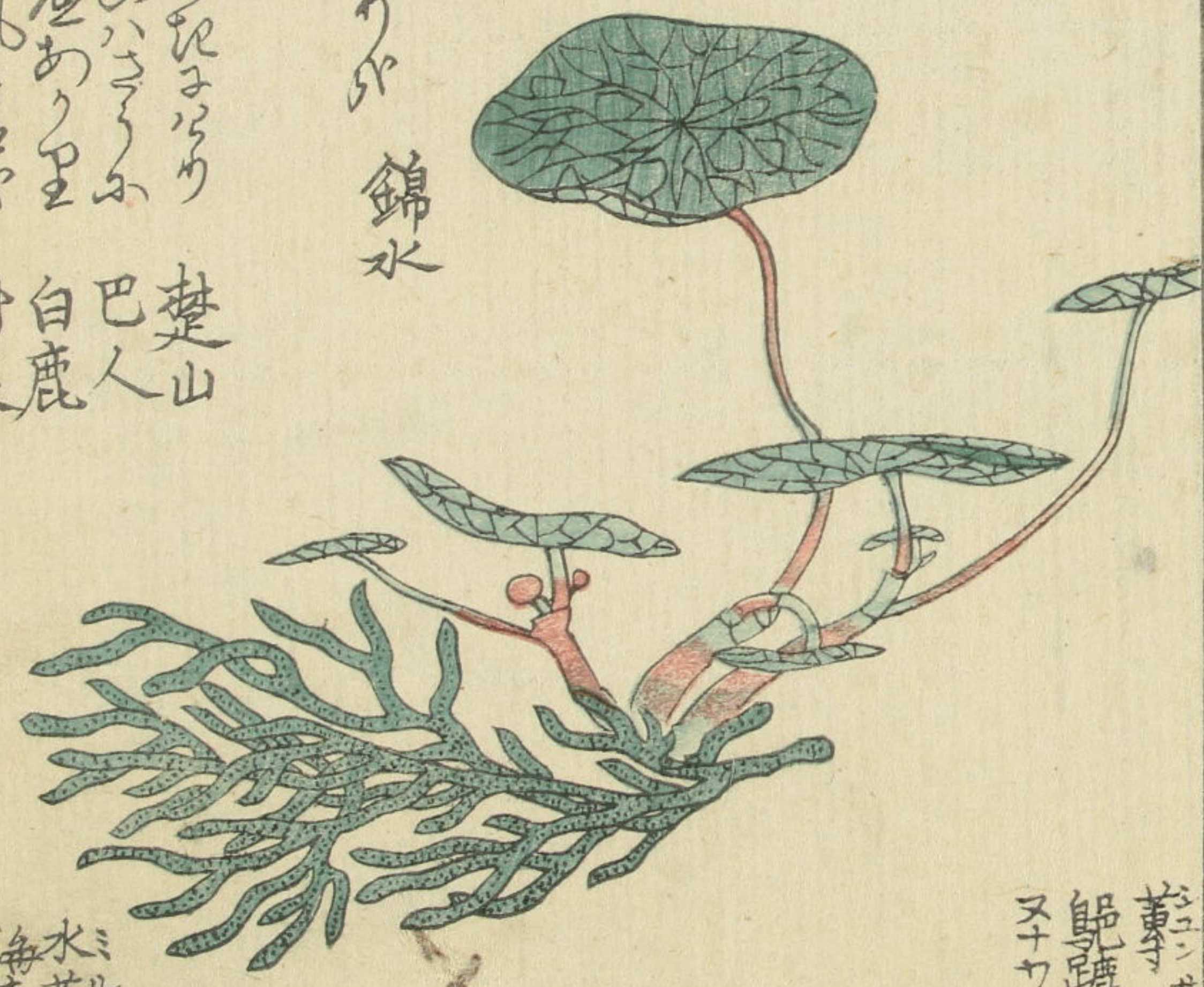
投うけさる 雨耕

驚き草の

竹馬のなれさうり 錦水

海松ささくさし 伊の味つねまなり
らるる房や和らさうにあらさうふ
の星やみるうら流乃庭あり星
海松の月松とせる風情なり

楚山 巴人 白鹿 對来



驚き草 驚き草 又ナワトリ

水菘房 海松 浮海松

引くもこれ
 草のつら子
 根のつら子
 少々
 徳重



青鬼燈
ホウキノ花

どくしめれ
 草や瘡の
 落るつけ 而后
 菴菜の葉や
 石屋の葉の縁
 只樂
 どのあつりや
 名なり 草 席有
 こくため也
 忘也
 猪子乃葉乃后 宙丞
 菴菜を
 刈やう 袖鼻の葉 芝鶴
 せきふえれむの葉乃つら子
 女
 子成楊



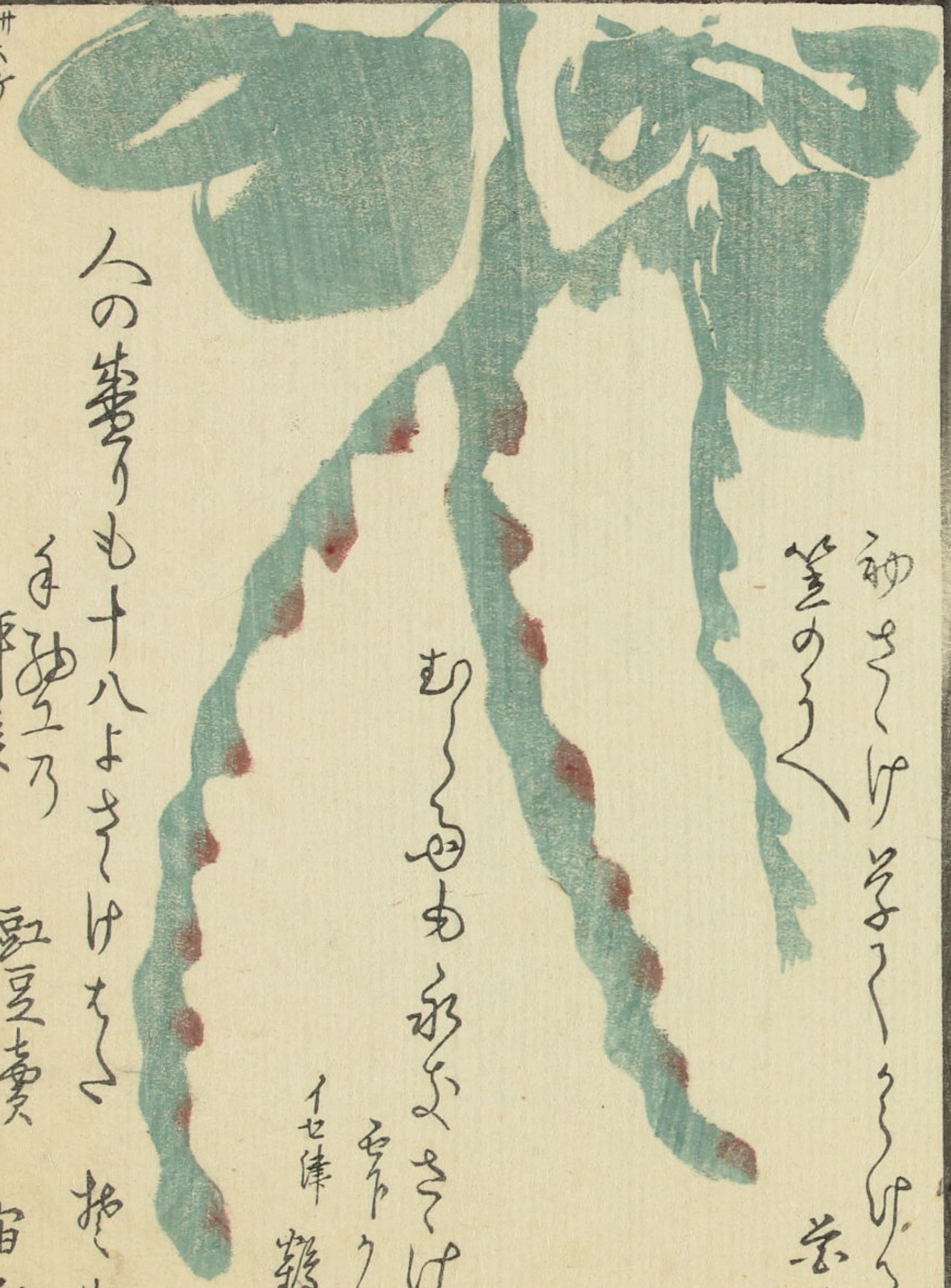
トクタメ
菴菜
シウヤク

ちもつげのふねたぐ
 中子ふねふり
 下毛此も赤蟻乃
 こつふも川
 宙窓
 知る人や茶下毛の
 簾まらる
 楚山
 雨光
 志もはげのたふれ
 こりも安氣たふれ

稲英



シモツク草
クサシモツク



豆

人の葉も十八よさげたる

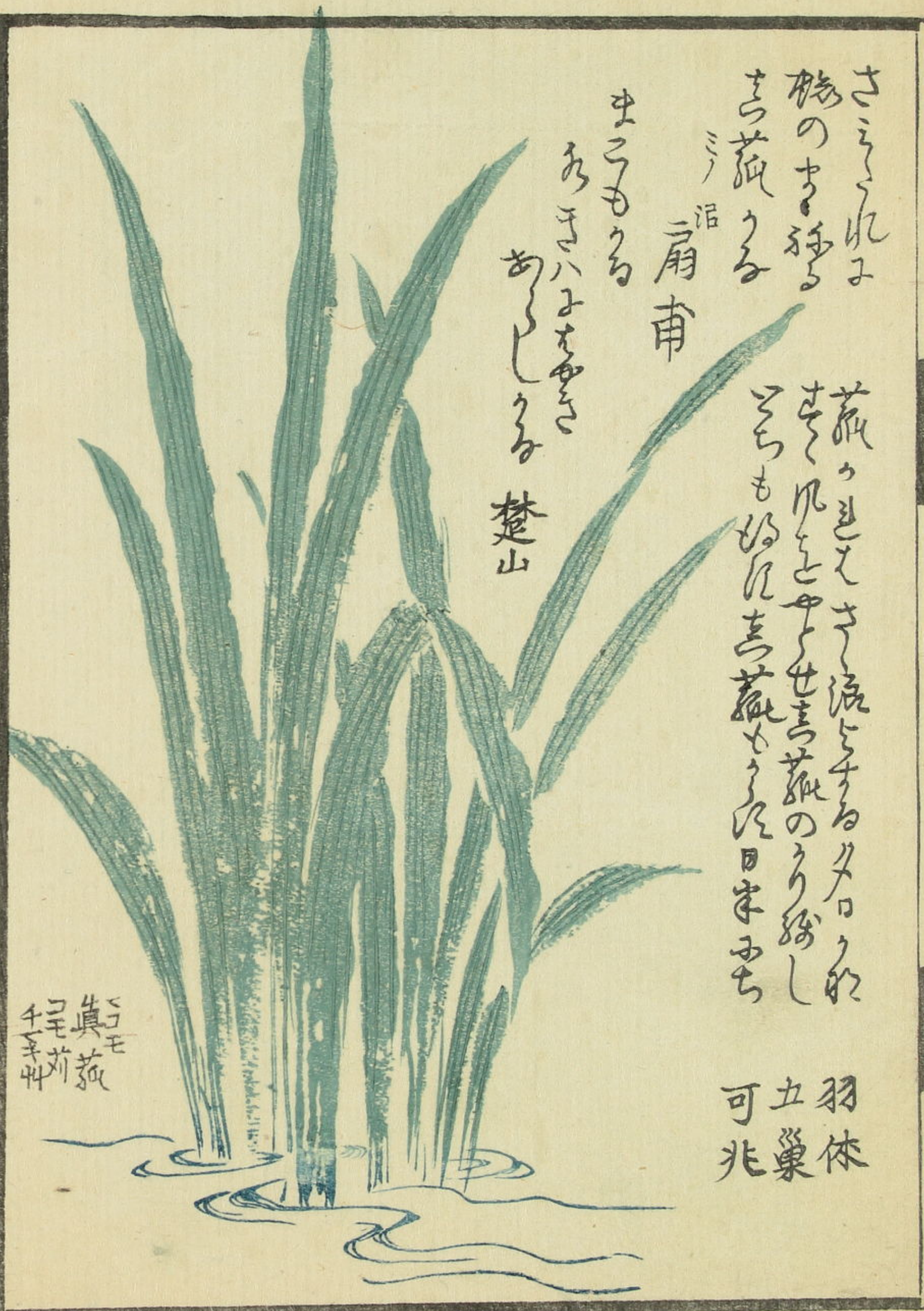
手ゆえ乃
秤量
豆葉
宙窓

初さげさくさげ
葉のくさく
茶饅

むもふさげの
イセ津
鶴古

ささくれ子
 物のちきり
 まらぬる
 ミノ
 扇甫
 まらぬる
 あまハ子
 あしし
 楚山

羽休
 五巢
 可兆



眞
 千
 手
 44

楚山花や
 うらうらめしき
 あらさのゆ
 楚山

あまの
 五青
 峨鹿

京
 月
 二笑

紫陽花
 片
 木
 宮

花
 故
 楚山



ア
 千
 手
 44
 眞
 楚
 山
 花
 葉
 八
 仙
 紫
 陽
 花
 不
 佳
 ト
 世
 心
 現
 コ
 ト
 手
 44

眉拂を侍
しそすおは
これ 芭蕉



目通り花一好富やぬりも神
うささりの救も入ぬおの毛
まよはるゝはあはぬう屋にの毛
おむも神子植くう軍の毛
あまの如くも照るぬの毛

和友
五獲
香樵
李笑
楚山

三ノ子
紅ノ花
スツク

ガニ
夏羅
眼
皮
草

おあ
るや
眼
皮
の
敷



楚山

モジ不リナ
文字欄草
子シハナ



あ字指子

えぬららの水

鳥居は足

鳳臺

秋蝴蝶や毎日花の
おしりもなる女梅井

きの子れ風多く 軍樹

あかきり 捨解人 汝若うすいせ
海松やまぬあかる春をいれら
誰の袖の香 汝捨解れ 臨日あさ

竹生
大良
楚山



ヒアフキ
秋蝴蝶
カラス扇
対干

カラスムキ
茶ヒキ

巡りあふるも路の茶枝子
石河段物も山寂茶枝
子竹等やにくまれ茶枝
堅ふ茶ふくも志の茶枝
山堀八宗強のつら茶枝
茶枝の茶枝の茶枝

士乾
楚山
帰雄
東悠
真人
宙系



チサノメウ
菅ノ莖

菅の莖
并竹の
女子集
あなつ 秋甫

二三日のちんちん
ちんちん 菅の 茶枝

色々のちんちん
菅のちんちん

芝鶴

山門の
あなつ
あなつ
あなつ

ちんちん
菅の
菅の

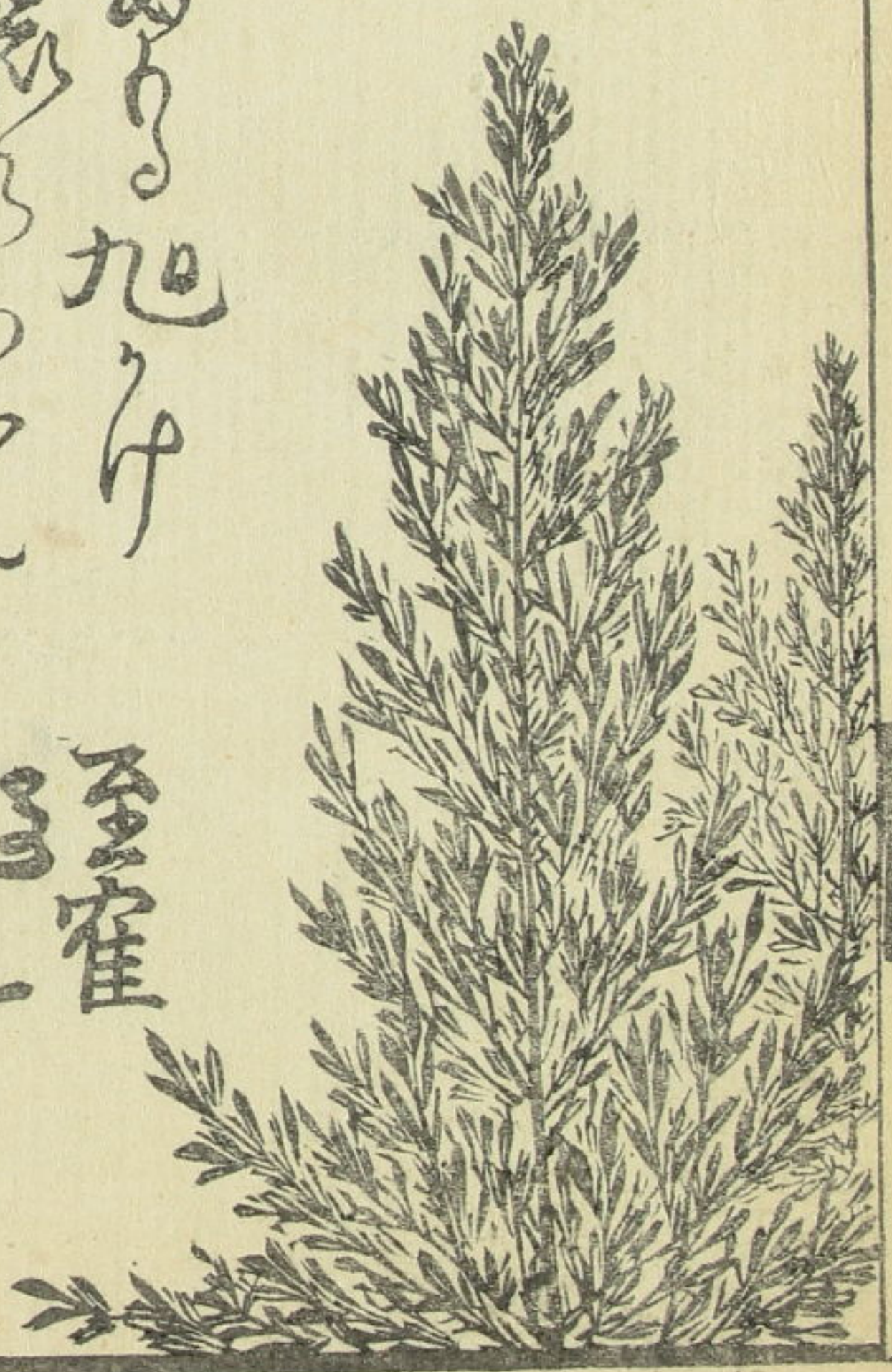
あなつ
五道



筍本
地膚
ハキキ

けいさ本はうとく蕨の地膚
 筍本はうとく蕨の地膚
 同下にある筍本の地膚
 とうさ本の下枝はし福のす
 筍本はれ影由空あめ蕨の地
 けいさハキキし中の後まらぬ
 筍本はれ蕨ハキキのまらぬ

至雀
九三
影蕨
紫由
席朗
老正
大福



小鳥や青蕨うとく蕨の地膚
 六月の地膚を
 あめくや蕨
 うとく蕨
 苦さうとく蕨
 足えらぬの地膚
 うとく蕨
 金毛

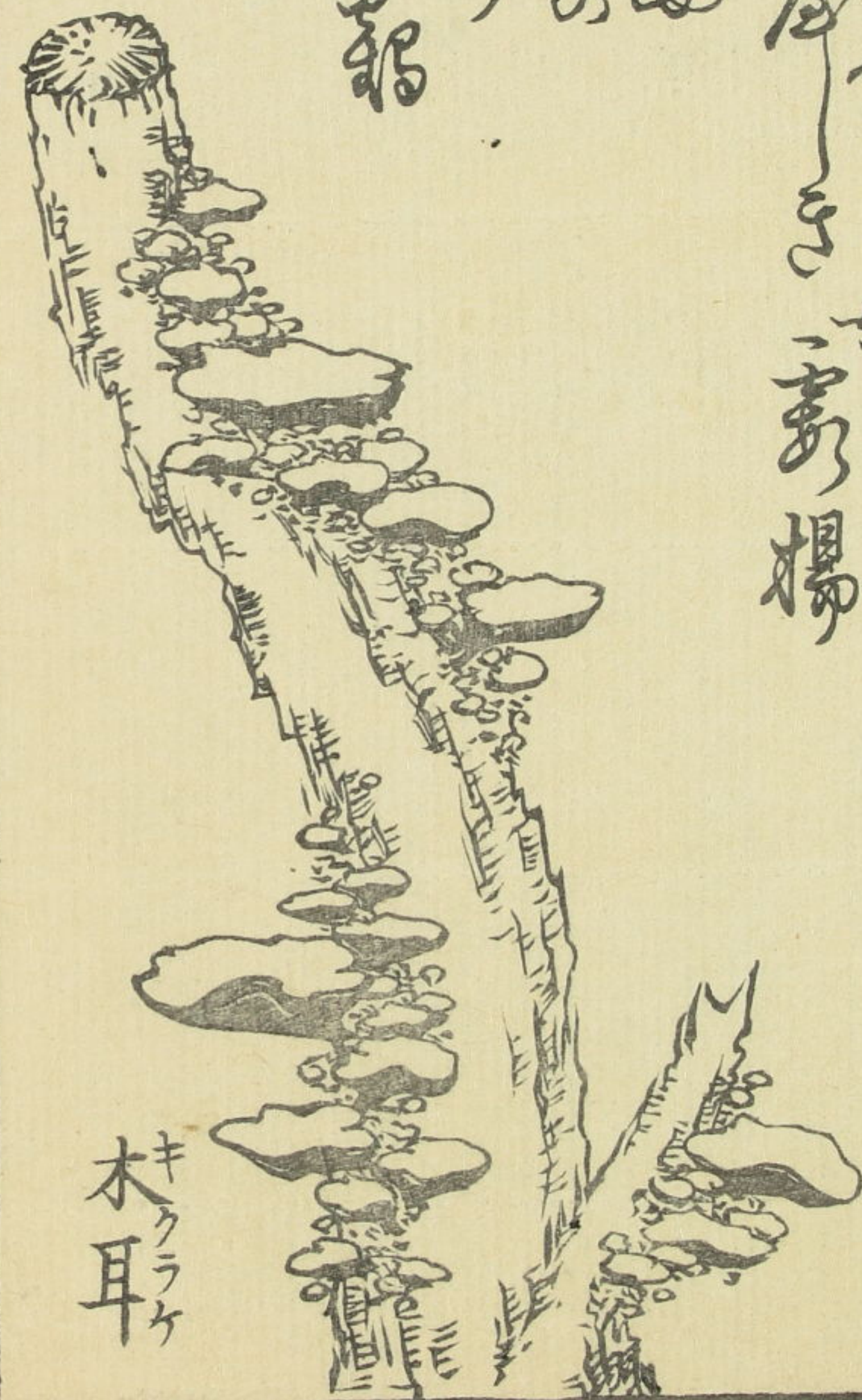
青蕨の地膚
 あめくや蕨
 うとく蕨
 辛
 地膚
 地膚



アチトウカラシ
青番椒

きりぎりすのむらりたるの木の
てんぐり好く木耳の遠く
本わらわをこれと就て
山 宙丞

大朝
申あめり



キノコ
木耳

花
梅
花
そよみの尾
百青

新白
壱土の山
庫育

古
昔
姑之

羽休
風

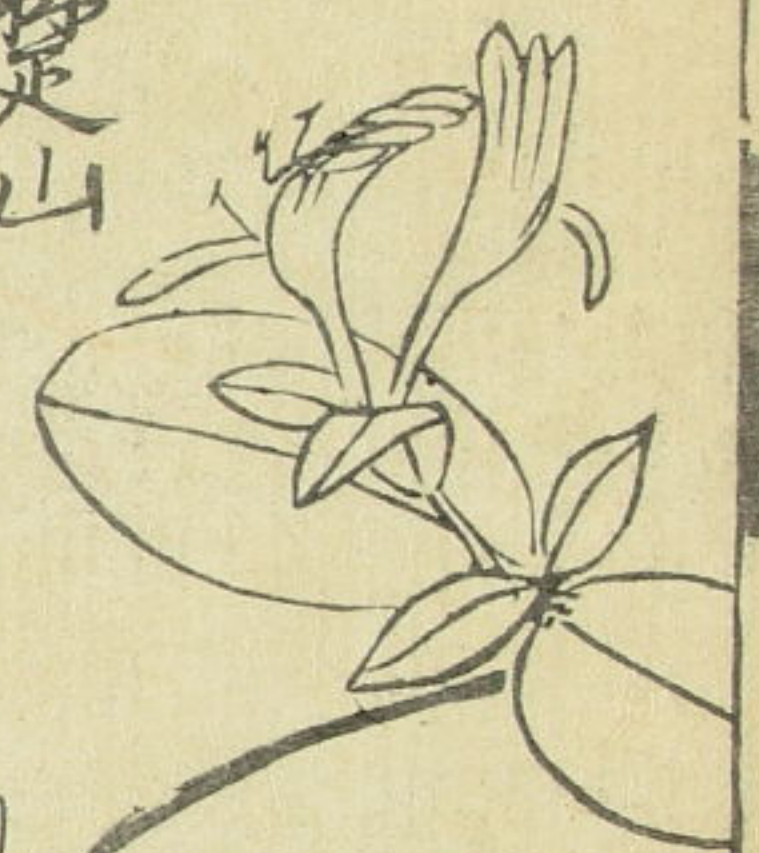


花
花

君かた
 若くも
 新ひを
 竹舟也 楚山

高藪や
 宝篋くま
 半白をい
 うつ 支方

任持一厚一さか
 あかすいろう
 悪かや世
 ありか
 根くも
 花軌
 二仙



三トウ
 忍冬花
 金銀花
 ス井カウ

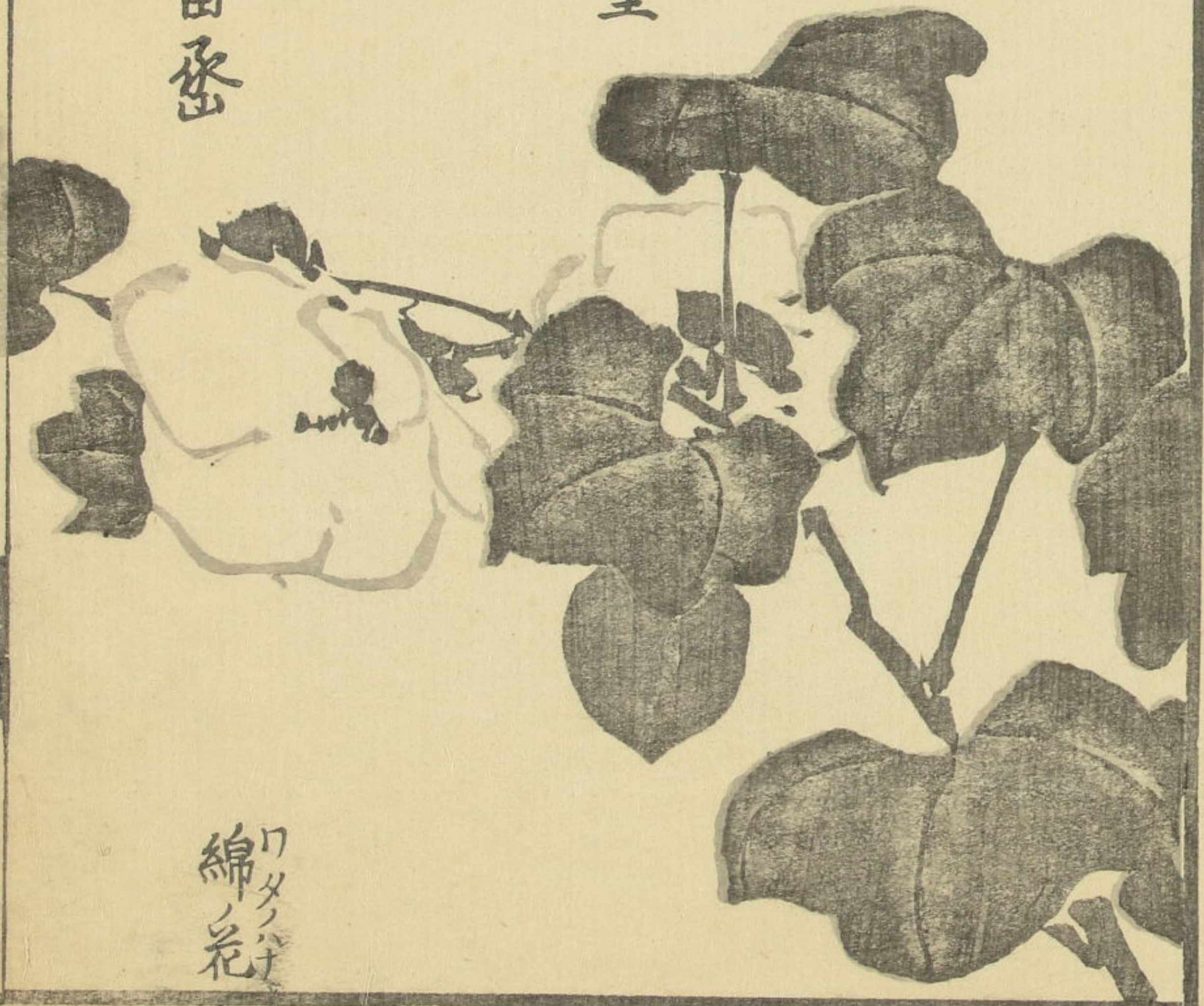
蝶々むむらね蝶々
 けいもけい 楚山

ねのうらよき綿の
 きれのききり絶毫

綿のむらぬ
 素堂 故人

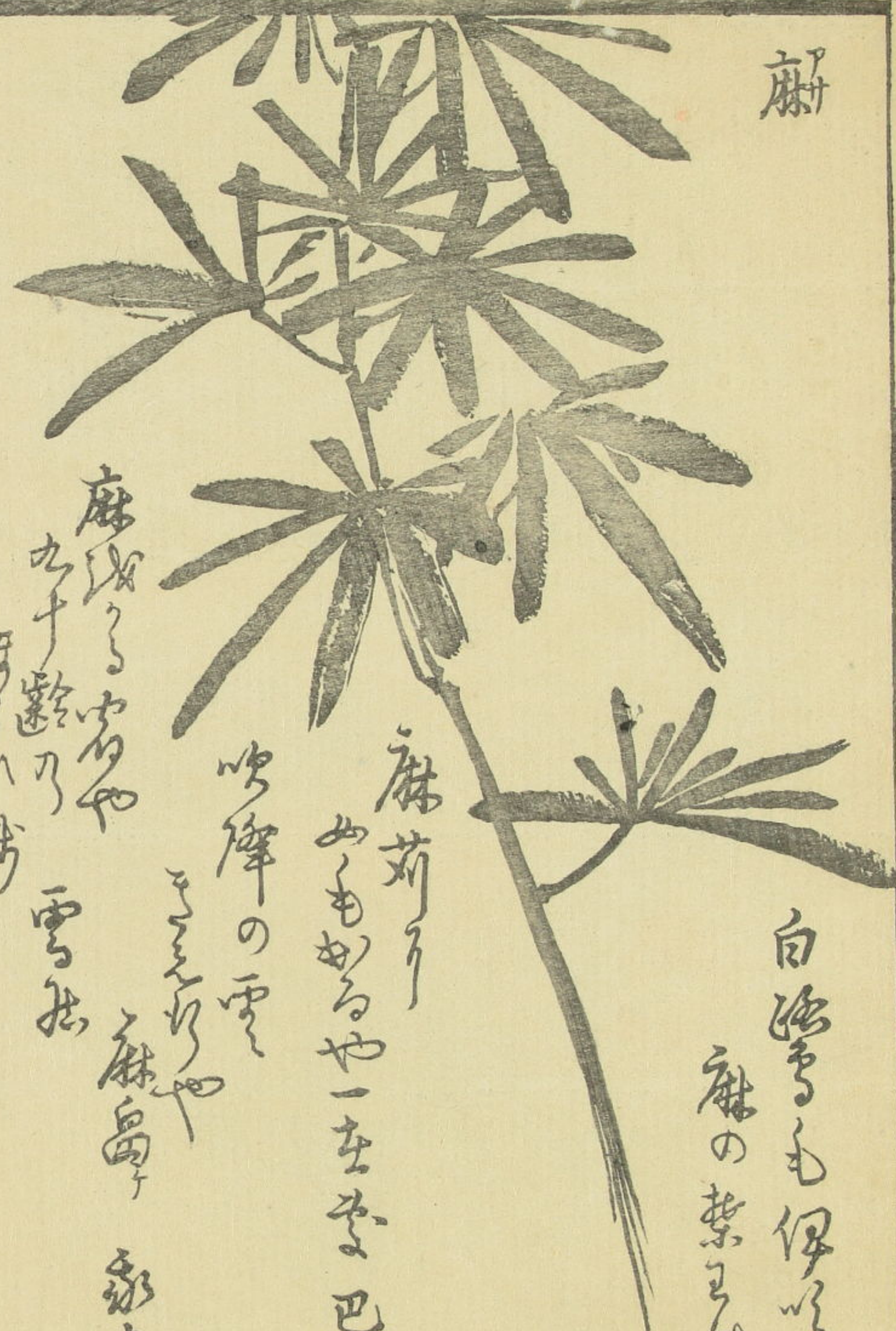
えい
 ありさ
 けいもけい 而后

日のこり
 山のきり
 綿乃きり 宙岳



綿花

解



白濁も伊吹も

解の葉まけ

大和

麻苧

あもむらや一をま巴人

吹降の雲

こまけや

麻島 糸巻

麻染るあや

あや敷乃雪

ほろひ

楚山

雪巻

約く如麻島染るとぬう〜

九もむらむす麻乃きむひ〜

有明の月〜
解の葉まけ
影法師
月の
時斗子
楚山
雪巻



トクイサ
時斗草
玉葉花

雪守の
舞
時斗草
三河
楽

温白の香れを つきよ
 赤文のちこころ 櫻溪
 石うけの
 日うけのさや 蔓のら 出 我竟
 里れ子の
 つらめらるるさよ
 うちこ時 金毛
 子ころら物
 玉後まき子
 希玉 楚山
 太口持る乃好也 イセ
 すら イセ 雀叟



覆盆子
 蛇イチコ
 トクイイ
 草イチコ

風 見ゆる
 花の 柳の
 末央 桂
 う那



花房の涼き
 末央 柳の
 尼 果樹

未央柳 ヒカウヤキ

蓮白 誰う 徐英

好この宮は

楚山

蓮の花の

上より字よ

あつきの月 素仙

戸の乳え

手取りきき

蓮乃ちらる

日ハあつきの月 仙士

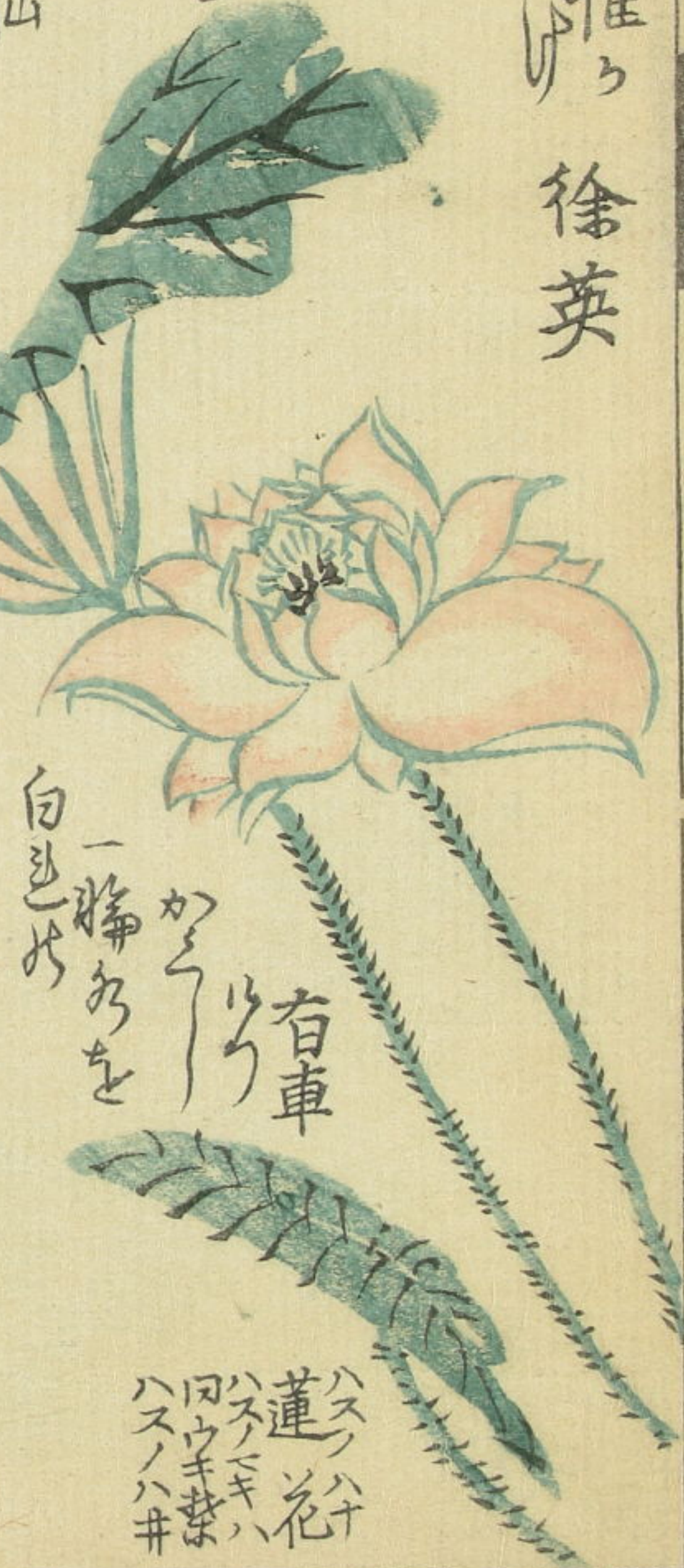
たかりらる

船くや 蓮乃ちらる

蓮見れもあつきの月

雨雨しもあつきの月

蓮の枝もあつきの月



古寺や

あつきの月 保光

蓮の香気

清める

船の音 司青

有車

か

一輪あり

白蓮花

蓮花

田舎

八井

蓮白の歌 佳暁

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉

蓮の葉



蓮花

楚山 凌山 故山 棠棣 五道 楚山

蓮の葉

庭南

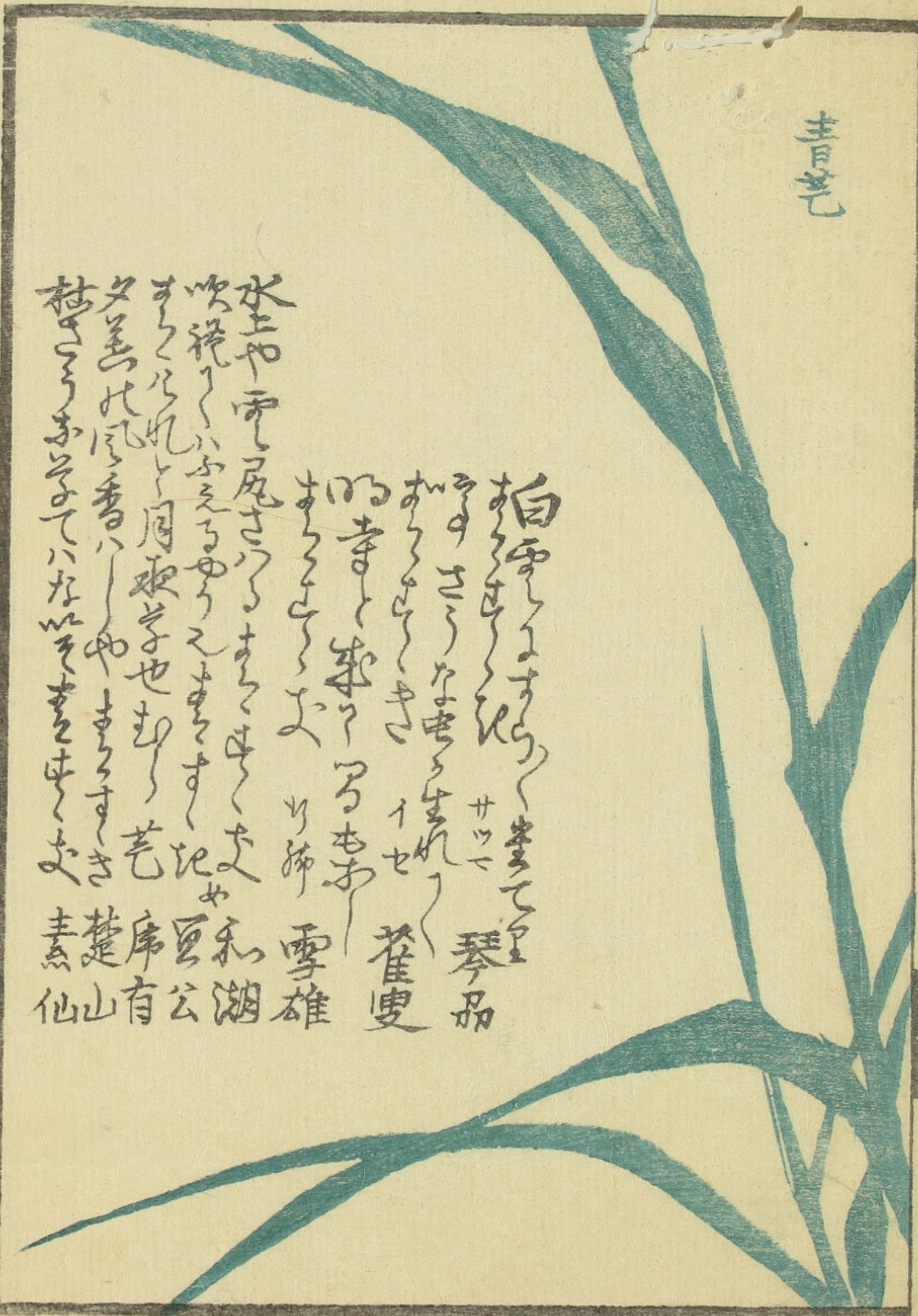


彩
 さすは
 浸香山
 なるの
 杉山

お静なる沈の心欲をうつゝ 秀真
 とくを望む心なきをなむ
 くらげのしや
 紫よりこゝろ
 あそびに
 巻
 巻漢

蘇宋
 草

青芒



柏葉のよすけり 琴品
 サツニ
 水也中尾さつゝ 雪雄
 吹流しはさるやうにまきす 和湖
 さるはれと月夜也わく 席有
 夕暮れ風香はくやまきすき 楚山
 杜さうふまてはなはまきまき 素仙

河宵の岬や小いもの上より 旭松

ういふや

つら

何 ます

薄蓬草や

ぬれ子濡しる 風うふく俊士

とくのわく草 河宵のたむしが 保光

河宵れさくや 遊りあふ泡 越山

水子と八むくはほ紙の飛くち 甲斐 守



薄蓬草

ものむまをくまより砂をより 大乃
薄のむのむまをくまより馬の豆 狂川
帆のええぬ日や薄のむの白くち 朱梅
この色や湖てら海の柏をけ 笑乾
浪うまをむ根のむ薄をり 楚山
薄のむをりも物く小舟の舟 夙也
この色や今もええさる魚の腹 序首
薄のむの中子指より玉の音 芝翁
ものそおのく種りむむ内浪 里麦
薄のむをりもまの 故 暁臺
後まをく 故 凡兆

藻花
ウキモ
ヨカリモ
川藻



海士ら子れ小海を
 こ原寸や葦の都 芝石
 好あゆのゆきも 楚山
 赤あ葦れをる 楚山
 高あれとぬつく 席有
 月影も
 ぬふらるや 鶉水
 節しれ系
 高の 葉子集ても
 さくや葦れを 一仙
 せし子
 埋まる池や
 葦れを 巴人



楚山



夕島花

老翁のむらさき
 申すふらつる
 牛のちね アラミ三浦
 むらさき車
 名申のむらさき 雨足
 夕島のむらさき 大道
 流まじり
 東のむらさきの押入
 そのむらさき 一草
 申すのむらさき 有車
 流まじり
 川音のむらさき 楚山
 夕島のむらさき 夜ト

スハヒユ
馬寛
白寛
赤寛
紫寛
細寛
イモ

引
蠅

馬寛

伊勢
東籬



此畑やうゑいんゆ
徐英
山
楚山
仙
士
席有
楚狂
春池

此の皮
あまの

流

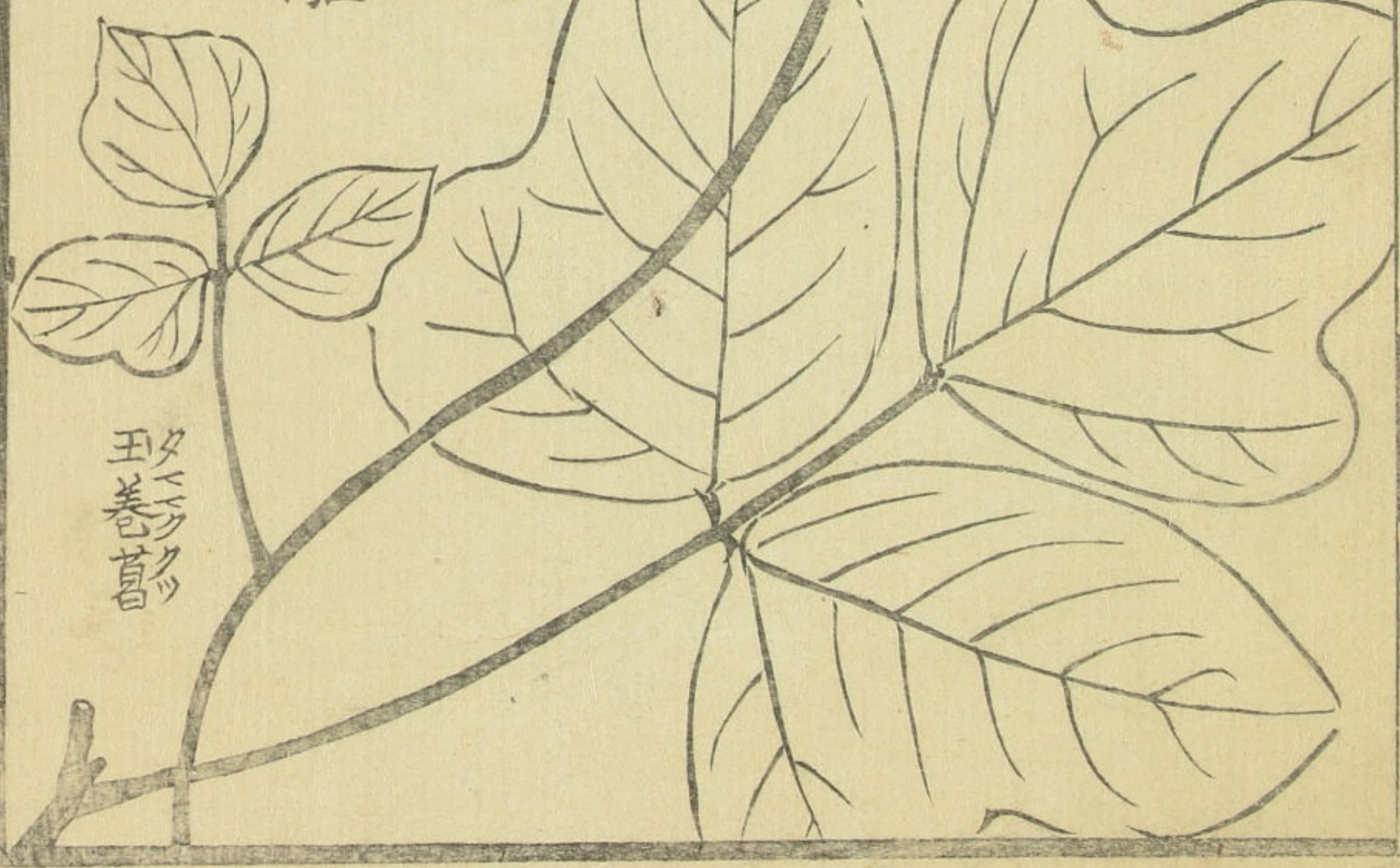
故
其
南



此の花
アサウリ
白ウリ
ヒメウリ
真桑花
キニクハ

牛らささ 楚山
 原やまき
 葛つら

手ちつうま海合葛れ
 申上よ江 イセ東籬
 玉巻るる 葛の夕るや
 考のし名 支方



玉巻るる
 支方

大ららやさ一矢通りやうつり子
 くのよやくさいんもらうつり子
 葛らあけいー 葛らあけいー
 葛らあけいー 葛らあけいー
 夏枯草あけいーる形の羽うけ
 伊賀
 鹿池
 漢月
 夷夫
 楚山
 士切

ウツホクサ
 夏枯草
 カンタニノ枕
 俗ニスイハナトキ





凌宵花の子の姿
 紫黒
 雪君
 楚山
 菊泉
 宙窓
 秋甫

凌宵花
 秋甫

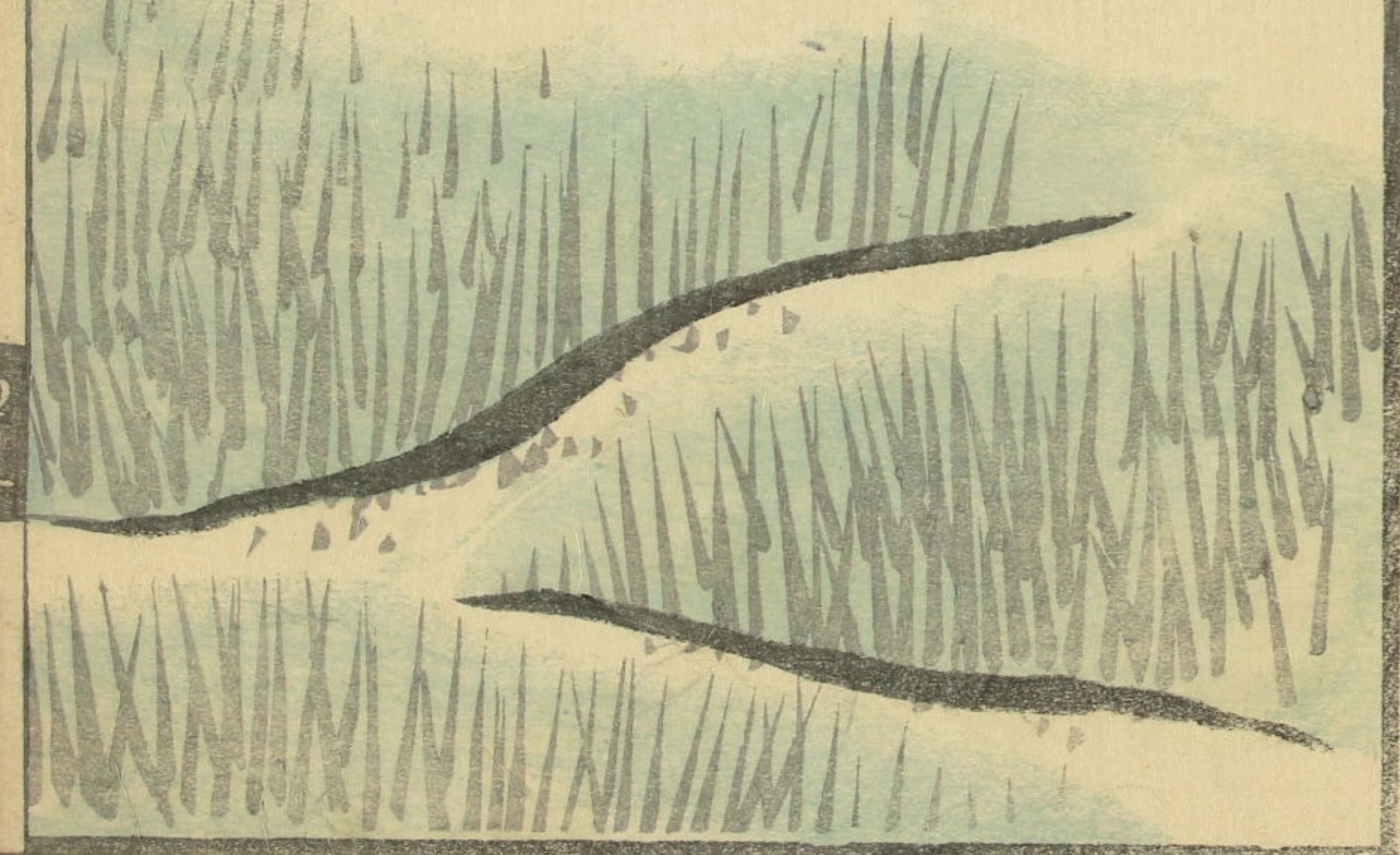
蘇村の如くつるまの如き女子
 庭中の如き物
 女子年乃若
 東宇
 如き蘇る如
 うや如き女子
 下草 席有
 日神の如き物
 子の如き物
 如き物
 楚山

カヤツリ草
 楚山



船の寄れば心もなほ〜 甲乙名噴楚山
 山依の枯ふりやけるまの四の如 大菜
 くらやあまもまを四れ一〜とま 紫黒
 我々の春も改めりま田う子 和潮
 ぬ〜とつこの田枯るまて〜 庭雅
 ぬ〜星はこれとて〜ま田式梅香
 雨〜影の揮ふ水り青田式立青
 世も猿〜と〜の田枯の赤雲第芙蓉
 苗足せて雲裁眞の田〜名引鳳臺
 人の毒〜百行るま田うら子 楚雀
 群戸〜の〜佳れみるなりま子大雀

青田早苗田山工田草



夏さ〜や〜〜肥〜枯〜帆の尻金羽
 夏さ〜や〜の〜〜淡清〜る 楚山
 や〜の〜〜夏菜亭〜也枯る〜 春年
 夏菜や個馬〜い乃駕舟中 大菜
 夏〜り〜や〜夏菜子〜入〜 和潮
 夏〜さ〜〜も
 夏〜の〜〜大朝
 夏〜の〜〜

宙空



夏キク

浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ

浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ



浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ
 浮世のうらみかゝるはかりにせ

ウキ子

筆者目録

序書	月樵	ケシサキサウ	芝石
ホタニ	卧雲	トクタメ	雪潭
ワタナ	ノウゼン	梅逸	弓影
イナツ	玉之	東籬	日光山下 普記
青ス	ノキ	翠岳	玉琴
ムギ	ユリ	ヒルカホ	ウキクサ
ナス	ビ	ウリ	ヒアギ
カツ	ミ	カハ	ホ子
オモ	カ	シヤク	ヤク
			玉鳳

アフヒカサクルニフキアサマコモキボウシ

玉僊

ナデシコキクラゲ 青トウカラシハキバ

墨仙

セウブ ガノホ セキセウ ユキノシタヨモギ

ワスレギ セキチク ニナリサウ クサフナ

大穴

シラニ テネシセウ キシク ジュシサ井 ヒトツバタテコケ

カコサウ ベニハナ チサタウ カラスギ ヒラウヤギカヤツリ

モシリスアウ トラチイバラ アジ井 トケイ中 フトリ中ニル 大路

イチゴ セキコク フウラニアチホウキ井 半 トウ井 子カホ 菊泉

シモケ ニシドウ 玉ミクス スハリヒユ

水谷氏

大穴菴塊翁撰

諸名家發句画帖

艸名集 春冬之部 全一冊

全 夏之部 全一冊

全 秋之部 全一冊

安政四年丁巳三月

尾陽書林

名古屋本町三丁目

菱屋藤兵衛

同京町通小牧町

美濃屋伊六

